

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公開番号】特開2003-204957(P2003-204957A)

【公開日】平成15年7月22日(2003.7.22)

【出願番号】特願2002-295517(P2002-295517)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/16 (2006.01)

H 0 4 R 1/32 (2006.01)

G 1 0 L 15/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/28 (2006.01)

G 1 0 L 15/28 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 9 0 E

A 6 1 B 6/00 3 2 0 Z

A 6 1 B 6/03 3 3 0 Z

A 6 1 B 8/00

A 6 1 B 19/00 5 0 2

G 0 6 F 3/16 3 4 0 A

G 0 6 F 3/16 3 4 0 N

H 0 4 R 1/32 3 2 0

G 1 0 L 3/00 5 5 1 L

A 6 1 B 5/05 3 9 0

G 0 1 N 24/02 Y

G 1 0 L 3/00 5 1 1

A 6 1 B 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月13日(2008.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 マイクロフォン（122）と医用イメージング・システム（10）の少なくとも一部とを内部に有しており、マイクロフォン感度域（136）が内部に配置されている検査分室（102）であって、前記医用イメージング・システム（10）が前記検査分室に配置されている 1 以上のビデオ・モニタ（108、110）と手動制御部（112）とを含んでいる前記検査分室（102）と、
前記マイクロフォンに結合されているコンピュータ（130）を内部に有する設備分室（106）とを備え、
前記コンピュータは、イメージングの間に前記検査分室（102）に所在するオペレータ

から前記マイクロフォンを介して受け取った命令に基づいて前記医用イメージング・システム（１０）を制御する、医療検査室（１００）。

【請求項２】 前記検査分室（１０２）に隣接しており、前記イメージング・システム（１０）用のビデオ・モニタ（１１４）及び制御部（１１６、１１８）を内部に有する制御分室（１０４）をさらに含んでいる請求項１に記載の医療検査室（１００）。

【請求項３】 マイクロフォン（１２２）と医用イメージング・システム（１０）の少なくとも一部とを内部に有しており、マイクロフォン感度域（１３６）が内部に配置されている検査分室（１０２）であって、前記マイクロフォン（１２２）が前記検査分室（１０２）内のオペレータからの音声による命令を受け取り、前記医用イメージング・システム（１０）が前記検査分室に配置されている１以上のビデオ・モニタ（１０８、１１０）と手動制御部（１１２）とを含んでいる前記検査分室（１０２）と、

前記マイクロフォンに結合されているコンピュータ（１３０）を内部に有する設備分室（１０６）とを備え、

前記コンピュータは、イメージングの間に前記オペレータから受け取った音声による命令に基づいて前記医用イメージング・システム（１０）を制御する、医療検査室（１００）。

【請求項４】 前記検査分室（１０２）に配置されており、前記コンピュータ（１３０）に結合されている音声スピーカ（１２６）をさらに含んでいる請求項１または２に記載の医療検査室（１００）。

【請求項５】 前記スピーカ（１２６）に結合されていると共に、前記コンピュータ（１３０）に結合されている音声増幅器（１２８）をさらに含んでいる請求項１または２に記載の医療検査室（１００）。

【請求項６】 前記マイクロフォン（１２２）に結合されていると共に、前記コンピュータ（１３０）に結合されている音声ミキサ及び増幅器（１２４）をさらに含んでいる請求項１または２に記載の医療検査室（１００）。

【請求項７】 前記コンピュータ（１３０）は標準音声アプリケーション・プログラム・インタフェースに従って動作する請求項１または２に記載の医療検査室（１００）。

【請求項８】 マイクロフォン（１２２）と医用イメージング・システム（１０）の少なくとも一部とを内部に有しており、マイクロフォン感度域（１３６）が内部に配置されている検査分室（１０２）であって、前記マイクロフォン（１２２）が前記検査分室（１０２）内のオペレータからの音声による命令を受け取り、前記検査分室（１０２）内だが前記マイクロフォン感度域（１３６）の外部にいる者の音声は干渉せず、前記医用イメージング・システム（１０）が前記検査分室に配置されている１以上のビデオ・モニタ（１０８、１１０）と手動制御部（１１２）とを含んでいる前記検査分室（１０２）と、

前記マイクロフォンに結合されているコンピュータ（１３０）を内部に有する設備分室（１０６）とを備え、

前記コンピュータは、イメージングの間に前記オペレータから受け取った音声による命令に基づいて前記医用イメージング・システム（１０）を制御する、医療検査室（１００）。

【請求項９】 前記検査分室（１０２）に隣接しており、前記イメージング・システム（１０）用のビデオ・モニタ（１１４）及び制御部（１１６、１１８）を内部に有する制御分室（１０４）をさらに含んでおり、前記イメージング・システムは、前記検査分室に配置されている１以上のビデオ・モニタ（１０８、１１０）と手動制御部（１１２）とをさらに含んでいる請求項８に記載の医療検査室（１００）。

【請求項１０】 前記制御分室（１０４）内の前記制御部は、Ｘ線発生器制御部（１１６）と、モータ制御部（５６）と、画像閲覧制御部（１１８）とを含んでいる請求項１乃至９のいずれかに記載の医療検査室（１００）。

【請求項１１】 前記コンピュータ（１３０）は、単語認識及び句認識の１以上を実行するようにプログラムされている請求項１乃至１０のいずれかに記載の医療検査室（１００）。

【請求項 1 2】 X 線源 (2 8) と、該 X 線源から照射された X 線を受光するように配置されている検出器 (3 2) と、前記 X 線源が当該患者テーブルに載置されている患者 (5 0) に向かって X 線を照射するように配置されている患者テーブル (4 6) と、検査を行っている間にサンプリングされ、再構成された画像を表示するビデオ・モニタ (1 1 4) と、前記 X 線源、前記検出器及び前記ビデオ・モニタに結合されている音声作動式制御システムであって、該制御システムは、前記検査を行なっている間に取得した複数の画像の解析を行うために、音声コマンドに基づいて、前記検査中に撮像系列の再生を制御し、前記制御システムは、操作者からの音声入力を受け取るべく配置されるように構成されている音声マイクロフォン (1 2 2) と、該マイクロフォンに結合されており、前記増幅器 (1 2 8) からの増幅された音声信号を処理する音声信号プロセッサ (1 3 0) とを含んでおり、該プロセッサの処理は単語認識及び句認識の 1 以上を含んでおり、当該制御システムは、前記 X 線源、前記検出器及び前記モニタの制御部であって当該制御システムが受け取った命令を実行する制御部 (1 1 6 、 1 1 8) に結合されている音声作動式制御システムとを備えた X 線検査システム (1 0) 。

【請求項 1 3】 前記コンピュータ (1 3 0) に結合されており、前記マイクロフォン (1 2 2) からの音声信号を受信する音声増幅器 (1 2 8) をさらに含んでいる請求項 1 2 に記載の X 線検査システム (1 0) 。

【請求項 1 4】 前記マイクロフォン (1 2 2) は高指向性マイクロフォンを含んでいる請求項 1 2 に記載の X 線検査システム (1 0) 。

【請求項 1 5】 前記音声作動式制御システムは、前記プロセッサ (1 3 0) に結合されている音声増幅器 (1 2 8) に結合されているスピーカ (1 2 6) をさらに含んでいる請求項 1 2 に記載の X 線検査システム (1 0) 。

【請求項 1 6】 前記 X 線源 (2 8) 、前記検出器 (3 2) 、前記モニタ (1 1 4) 及び前記マイクロフォン (1 2 2) は検査分室 (1 0 2) に配置されており、マイクロフォン感度域 (1 3 6) が前記検査分室内に配置されている請求項 1 2 に記載の X 線検査システム (1 0) 。

【請求項 1 7】 前記制御部は、X 線発生器制御部 (1 1 6) と画像閲覧制御部 (1 1 8) とを含んでいる請求項 1 2 に記載の X 線検査システム (1 0) 。